

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	産業経済部		
	課名	耕地課		
	係名	土地改良係		
	記入者		電話(内線)	182

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	<b>継続</b>	(2) 事務事業 の名称	農業集落排水機能強化事業		(3) 事業の 優先度	<b>A</b>
(4) 総合計画での位置づけ				(6) 事業主体		市
① 事業の区分	<b>主要事業</b>			(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	普通建設事業費(ハード事業)
② 施策コード	26406	(総合計画掲載 <sup>ハ</sup> - <sup>ジ</sup> )			会計区分	特別会計
基本目標(政策)	2 安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)				財源区分	国庫補助
基本施策	6 地球環境にやさしいまちづくり(環境保全, 排水処理)				予算科目	款 1 項 1 目 1
施策	生活排水の適正な処理				予算書上の 事業名称	施設管理経費 (予算書 <sup>ハ</sup> - <sup>ジ</sup> に掲載)
施策内容	農業集落排水処理施設の維持管理					
(5) 事業期間	開始	年	月から	(8) 事務分類		
	終了	年	月まで ( 力年)	根拠法令		

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
地区内受益者(公共施設を含む)	農村地域における資源循環の促進を図りつつ、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持及び農村生活環境の改善を図り、生産性の高い農業の実現と活力ある農村社会の形成及び循環型社会の構築に努める
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
管路施設及び処理施設の修繕改修整備 ・管路施設 不明水流入箇所の修繕及び一部布設替え ・処理施設 処理方式変更による改修	

(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境, 市民ニーズ等)や市民・議会の要望, 意見等とそれに対する対応  
 大戦防・武井南地区は、供用開始から20年を経過し、既に実施済調査により管路施設からの不明水の流入ならびに一部路線の沈下によるたるみが確認されている。処理施設においては、硫化水素の発生に伴うコンクリート防食塗膜の剥離等の劣化が進み、電気・機械設備等については故障や腐食、対応年数の経過などが確認される状況であり、早期改修が必要な時期を迎えております

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映			
実施計画									
● 予算内訳	事業内容	実績額 (千円)	当初予算額 (千円)	計画額・見込額 (千円)					
		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度			
(1) 事務事業費	処理施設機能強化対策工事		179,900						
	処理施設実施設計		10,100						
	処理施設全体設計	12,755							
	管路施設TVカメラ調査								
	管路実施設計								
	管路施設工事								
	合計	12,755	190,000						
財源	国庫支出金 (千円)								
	県支出金 (千円)	5,000	95,000						
	地方債 (千円)	5,700	91,800						
	その他特定財源 (千円)		3,170						
	一般財源 (千円)	2,055	30						
	合計 (千円)	12,755	190,000						
	補助・起債制度名	農山漁村地域整備交付金	農山漁村地域整備交付金						

#### 4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
<b>(1) 活動指標（実施した事業の内容）</b>							
指標名	整備改修(管路施設・処理施設)	目標値		1	1	1	
		実績(見込)値	0				
	調査設計業務(管路施設・処理施設)	目標値		1	1	1	
		実績(見込)値	2				
<b>(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）</b>							
指標名	進捗率(事業費ベース)	目標値		10	91	100	
		実績(見込)値	2				
		達成率	%	%			
		目標値					
		実績(見込)値					
		達成率	%	%			

#### 5. 事業評価

(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。

#### (2) 項目別評価

評価項目・客観的評価				理由
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	自然環境の保全や農業用排水の水質保全、さらに農村環境の改善を図るため必要性は高い
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	共用開始より21年がたち、施設の改修を行うためには市が関与しなければならないと考えられる
	手段の妥当性	A	妥当である	
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	事業に関しては改修工事に向けての計画調査段階であるため、コスト効率、人員効率が高いとも低いとも言えない
公平性	受益者の偏り	B	どちらとも言えない	
有効性	成果の向上	A	上がっている	27,28年度改修工事に向けての計画通り事業を進めている段階である
進捗度	事業の進捗	B	どちらとも言えない	事業費ベースでは進捗率は低迷しているが改修工事がメインであるため、順調に推移している

(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。

供用開始から21年がたち、世代交代をしている家庭もあり、事業の必要性和重要性の認識を深めてもらうための促進を図らなければならない。

(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？

地元維持管理組合との連絡調整を密にし、今後の改修に理解と協力を求めていかなければならない

#### 6. 事業の方向性判断

評価主体	27年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	拡充 (人・モノ・カネ等の拡充)	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	拡充 (人・モノ・カネ等の拡充)	大戦防・武井南地区の水処理施設や管路施設は経年により維持管理費が増大傾向にあるため、維持管理に携わってきた地元組合と連携し改修費の予算確保に努めていくべきである
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり。